

令和7年度 香川県小中学校教頭会 研究主題について

【研究主題】	「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」
【キーワード】	〈自立・協働・創造〉
【サブテーマ】	「つながり ともに創る 学校」の実現に向けて

1 研究主題について

平成から令和に変わり、技術革新とグローバル化が急激に進んでいる。人工知能の進化、高度情報社会の到来と、人口減少・高齢化の進展、子供の貧困問題、社会経済的な地域間格差等、現在の社会状況の変化に対する対応力の育成がより強く求められている。こうした社会の変化を乗り越え、未来を力強く生きるために、自ら主体的に行動し、他者と協働しながら新しいものを生み出し、課題の解決や改善をしていく「未来を切り拓く力」を育んでいく必要がある。

このように「未来を切り拓く力」とは、困難な状況においても自ら積極的に未来社会を切り拓くための資質・能力であり、子供たちが、時代の変化に的確に対応する「生きる力」である。また、「魅力ある学校づくり」とは、学習指導要領の前文の「よりよい学校を通して、よりよい社会を創る」という理念に基づくものであり、子供はもちろん、保護者や地域住民にとっても、さらには教職員にとっても魅力ある学校を創造していくことである。

子供たちの、よりよい社会や幸せな人生を積極的に築き上げていく力「未来を切り拓く力」を育むとともに、我々副校長・教頭が自信と誇りを持ってやりがいを感じながら働ける「魅力ある学校づくり」を引き続き具現化していくことをねらいとし、研究主題を「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」とした。

2 キーワードについて

キーワード「自立・協働・創造」は、第3期教育振興基本計画において示された今後の社会の方向性である。この3つの理念の実現に向け、学校教育において、すべての人にとって魅力ある学校を創造し、個々の子供たちが共に支え合い、高め合いながら、夢をもち、主体的に未来へ進もうとする力の育成が求められている。

3 サブテーマについて

(1) 教育の現状と課題

【香川県教育基本計画・基本理念】

本県では、「郷土を愛し 夢と志を持って 自ら学び 歩み続ける人づくり～自立・協働・創造を支える香川の教育～」を基本理念とした香川県教育基本計画をもとに教育に取り組んでいる。子供たち一人一人が多様な個性や能力をのばし、充実した人生を主体的に切り拓いていく「自立」と、個人や社会の多様性を尊重し、それぞれの強みを生かして、共に支え合い、高め合い、社会に積極的に参画する「協働」、そして自立と協働を通じて、社会の新しい価値や自らの未来を「創造」する力を育めるよう、学校、家庭、地域が一体となり、その学びと成長を支える教育の実現を目指している。

【学習指導要領】

学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」を中心に、「特別の教科 道徳」、「小学校外国語教育」、「プログラミング教育」、「キャリア教育」などの新しい教育内容が示されている。また、社会に開かれた教育課程の理念の実現には、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか（主体的・対話的で深い学び）」までを一体的に見据えて改善を図ることが求められている。このためには、目指すところを保護者や地域をはじめ社会で広く共有することが必要である。よりよい学校教育を通じて子供たちを育てよりよい社会を創るという動きは、現代社会の問題の解決に責任のある私たち大人に希望と勇気をもたらし、よりよい社会の在り方を考え、行動する上での一つの核となる。

【学校現場の抱える主な課題】

経験豊かな多くのベテラン層教員の退職、若年教員の増加が進んでおり、学校の教育力の低下が危惧されている。また、教職員の長時間勤務が問題として取り上げられ、働き方改革として、業務改善や多忙化の解消を図り、教職員のやりがいやどう高めるかという点も重要な課題である。さらに、複雑化・多様化した学校の状況や課題に対応するために、チームとしての学校体制の構築が求められているが、その連携・構築の難しさに苦慮している学校も多い。

(2) 「つながり ともに創る 学校」の実現に向けて

【「つながり ともに創る 学校」とは】

前述したように、学校教育には、これからの時代において、複雑化・多様化する教育課題に適切に対応し、子供たちの、よりよい社会や幸せな人生を積極的に築き上げていく力「未来を切り拓く力」を育むことが求められている。その実現のためには、子供を中心に据えて、保護者、地域と連帯感をもって教育活動に取り組み、学校だけでなく、保護者、地域が多様な経験やスキルを持ち寄り、総がかりで子供たちの学びや成長を支えていく必要がある。サブテーマの「つながり ともに創る」という言葉には、保護者、地域と連帯感をもつ（子供を取り巻く人と人がつながる）中で、総がかりで子供の成長を支えていきたいという願いが込められている。

【教職員の資質能力の向上】

中教審答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」では、これから求められる教職員の姿として、「環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続ける」「子供一人一人の学びを最大限に引き出す教師としての役割を果たしている」「子供の主体的な学びを支援する伴奏者としての能力も備えている」が挙げられている。「つながり ともに創る 学校」の実現においては、このような教職員の資質能力の向上は欠くことのできない条件である。

【社会に開かれた教育課程の実現】

「つながり ともに創る 学校」の実現は、学習指導要領に示された社会に開かれた教育課程の実現を意識している。社会に開かれた教育課程は、社会に支えられて成立する。そのために、学校は、地域や家庭などとの連携をより深め、社会全体が一体となって子供を育てる環境をつくり出すことがより重要になってくる。子供の未来を切り拓く力を育てていくために、これまで学校が担っていた教育活動において、地域や家庭の教育力を生かすようなカリキュラム・マネジメントを行い、今まで以上に学校と社会をつないだ教育の創造が必要となる。

(3) 教頭の役割について（「つながり ともに創る 学校」の実現に向けて）

学校運営において、校長の学校経営方針のもと、教育目標の実現に向けて教育活動が円滑に行われるように、教頭は実務全体を取り仕切る役割を担っている。その業務の範囲は広く、内容は非常に煩雑である。こうした日々の業務を行いながら、「つながり ともに創る 学校」の実現に向けて教頭のすべきことを考えた時、そこに「つながり」「ともに」という視点が求められる。

例えば、教職員の育成について、直接関わり指導するだけでなく、ともに学校運営や業務に携わったり、個々の教職員と組織とをつないで関わらせたりすることも教頭の役割の一つである。

また、コミュニティ・スクールにおける協働体制である学校運営協議会は、学校だけでなく、保護者や地域とつながり、ともに学校を創っていく「チーム学校」の代表的なものである。協議会運営には教頭が大きくかかわり、教頭の「つながり」「ともに」を生かす手腕が問われるところである。

さらに、組織や人をつなぐだけでなく、教育課程編成において、カリキュラム・マネジメントにより教育活動を効果的につなぎ、社会に開かれた教育課程とするために、保護者・地域に教育課程を示し、ともに学校づくりを行っていくことも教頭の役割である。このように、「つながり」「ともに」という視点から、教頭の具体的な役割や方策を見直し、その中でいかにリーダーシップを発揮するか、自分自身の資質能力をどう高めていけばよいのかなどについて研究を深めていく。

4 研究の基本方針（継続性・協働性・関与性に焦点を当てた実践的研究）

- (1) 「つながり ともに創る 学校」づくりのために、教頭として学校運営にどのように関わったか、教職員に対してどのような指導・支援を行ったか、保護者や地域との連携、チームとしての学校体制の構築にどのように取り組んだか、多様性を認める内容か、持続性のある実践かなど、教頭としての関与性や同僚性、リーダーシップについて研究を進める。
- (2) 学校教育における主体は子供であり、本研究の成果は子供に還元されるべきものである。「つながり ともに創る 学校」づくりに向けた実践的研究を進めることで、子供たちの、よりよい社会や幸せな人生を積極的に築き上げていく力「未来を切り拓く力」を育むことができるようにする。
- (3) 個々の会員が主体的に研究を進める実践型・参加型の研究とする。各支部の研究を交流し、県教頭会としての組織的・継続的研究を推進することで、研究の深化を図る。

5 研究の全体構想

全国公立学校教頭会の第13期全国統一研究主題『未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり』をもとに、令和7年度 香川県小中学校教頭会の研究を以下のとおり構想する。

<p><社会の現状や変化></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ VUCAの時代（変動性・不確実性・複雑性・曖昧性） ○ グローバル化や人口構造の変化 ○ DXの進展、AIやロボット、グリーン（脱炭素） ○ 共生社会、精神的豊かさ（ウェルビーイング） ○ 不安定な国際情勢 	<p><第4期 教育振興基本計画のコンセプト></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 将来の予測が困難な時代における持続可能な社会の創り手の育成 ○ 社会に根差したウェルビーイングの向上（多様な個人や地域・社会が幸せ・豊かさを感じることができる教育の在り方）
---	---

<p><香川県教育基本計画（R3-R7）の基本理念></p> <p>「郷土を愛し、夢と志を持って自ら学び歩み続ける人づくり～自立・協働・創造を支える香川の教育～」</p> <p>学校をはじめ家庭や地域と連携・協力しながら、子どもたちの自立・協働・創造を支える教育を推進し、香川で育ったことを人生のゆるぎない礎として、自分の良さや可能性を見出し、夢と志を持って生涯にわたって学び、歩み続ける人づくりに取り組む。</p>
--



<p>《研究主題》 「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」</p> <p>【キーワード】 <自立・協働・創造></p> <p>【サブテーマ】 「つながり とともに創る 学校」の実現に向けて</p>
--

<p>「未来を切り拓く力」とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自らの個性を発揮し、自信を持って自らの未来を自らの手で切り拓く力 ○ 様々な困難な課題に自ら考え、判断し、積極的に対応する力 	<p>「魅力ある学校づくり」とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子供たちが笑顔で安心して教育を受けられる学校 ○ 保護者や地域住民が信頼し、魅力を感じる学校 ○ 働き方改革が進み、教師も魅力を感じる学校
<p>「つながり とともに創る 学校」の実現へ</p> <p>「つながり」「ともに」という視点から、教頭の具体的な役割や方策を見直し、その中でいかにリーダーシップを発揮するか、自分自身の資質・能力をどう高めていけばよいのか。</p> <p>（例）学校・地域・家庭が協働した取組 / 学校組織のマネジメント / カリキュラムマネジメント / 人材育成</p>	



<研究課題> 研究のおもな内容				
<p>研究課題1</p> <p>教育課程</p> <p>教育課程の編成と実施、評価と改善、日々の授業改善等</p>	<p>研究課題2</p> <p>子供の発達</p> <p>学力の確実な定着や豊かな人間性の育成、健康や体力の増進等</p>	<p>研究課題3</p> <p>教育環境整備</p> <p>学校生活を豊かにし、主体的な教育活動を支える環境の整備等</p>	<p>研究課題4</p> <p>組織・運営</p> <p>学校が組織として機能し、様々な課題に対応する体制づくり等</p>	<p>研究課題5</p> <p>教職員の専門性</p> <p>教職員の資質向上、職務意識の高揚、服務規律、学校経営への参画意識等</p>